

## 8-3-6 報酬のあり方検討WG

### 1. WGの概要

#### (1) 活動目的

報酬のあり方検討WGは、建設コンサルタント業界の報酬・積算体系の問題点・課題を整理するとともに、新たな報酬・積算のあり方について検討することを目的としている。

また、検討成果は本省意見交換会や未来塾等を通じて発注者へ情報提供し、必要に応じて改善提案を行うこととしている。

今年度は、建設コンサルタント業界の報酬・積算体系の問題点・課題を整理し、新たな報酬・積算のあり方を検討するための論点を整理した。

#### (2) WGメンバーの構成

WGの構成メンバーは以下の5名である。

WG長：(株)建設技術研究所 杉本 龍志

委員：(株)建設技術研究所 清水 隆史

大日本コンサルタント(株) 月野 郁也

(株)復建エンジニアリング 戸田 秀夫

日本工営(株) 吉原 信幸

### 2. 主な活動報告

#### (1) WGの開催

WGは、企画委員会の開催に合わせて、計6回以下の日程で行った。

- ① 令和元年9月3日
- ② 令和元年10月4日
- ③ 令和元年10月30日
- ④ 令和元年12月3日
- ⑤ 令和2年1月29日
- ⑥ 令和2年2月26日

#### (2) 検討内容

以下の5項目について整理を行った。

- ① 業務執行体制や報酬等の実態把握と課題整理
- ② プロポーザル予定価格の実態把握と課題整理
- ③ その他原価、一般管理費等の実態把握と課題整理
- ④ 諸外国の報酬積算体系の整理
- ⑤ 会計法による上限拘束の課題整理

### 3. 現行の積算・報酬体系の課題

検討の結果、以下に示す課題が示された。

- ① 現行の積算手法に係る技術者単価・歩掛・経費・利益および報酬に対する課題は、関連する委員会で詳細に検討が進められている。一方で、「設計変更時の落札率の考え方」が課題である。
- ② プロポーザル業務等は、予定価格に合わせた提案内容となっている場合が多いが、技術提案に見合った価格交渉の方式導入、建設コンサルタントの技術提案に応じた価格交渉力の向上が課題である。
- ③ 調査設計業務等を対象に、現行の積算手法が適用され業務原価に占めるその他原価の割合と業務価格に占める一般管理費等の割合を一律に設定している。一方で、業務難易度、業務規模、地域特性を考慮した補正の検討が課題である。
- ④ 海外では時間単価、成功報酬、業務規模、難易度、技術者の能力等に基づいて柔軟かつ多様な形態が導入されている。建設コンサルタントの成果が事業費低減につながる場合の成功報酬の導入が課題である。
- ⑤ 報酬のあり方については、改正品確法での運用により改善されつつあるが、会計法による予定価格の上限拘束は大きな課題である。

### 4. 次年度の活動について

あるべき報酬体系の検討の進め方として、以下に示す2点を論点としてWGとしての提言(案)を作成していく予定である。

- ① 業務難易度に応じた業務価格の設定、技術提案内容に応じた価格交渉力の向上、計画設計成果による総事業費の低減に対する成功報酬のあり方について
- ② 品質を確保するために、シニア技術者が技術力を発揮するための職階区分や報酬のインセンティブなどのあり方について

(報酬のあり方検討WG WG長 杉本 龍志)